

4. ヒートアイランド対策の効果および進捗状況

(1) 対策の分類

ヒートアイランド現象は、人工排熱の増大、建物・地表面の高温化、水面・緑地の減少などが主な要因とされる。そのため、ヒートアイランド対策としては、人工排熱の低減、建物・地表面の高温化抑制、都市形態の改善を目的とした対策や、適応策を目的とした対策が挙げられる。

ヒートアイランド対策の分類

考え方	分類	具体的な対策例
人工排熱の低減	建物からの排熱を減らすための対策	建築物・設備の省エネ化(ESCO 事業、BEMS、HEMS、CASBEE) 建物の断熱化、空調設備・照明等の設備の高効率化・運用改善 未利用・再生可能エネルギーの活用(太陽光、太陽熱、地中熱、下水熱、バイオマス、小水力等) エネルギーの見える化による省エネ推進
	自動車からの排熱を減らすための対策	ミッシングリンクの解消 エコカーの導入 公共交通機関の利用促進、交通渋滞対策の推進
	省エネ意識を高めるための対策	家庭での省エネライフの推進 環境教育の促進 打ち水等イベントへの参加 省エネ・省CO ₂ に関するセミナーによる省エネ意識の向上 エネルギーの見える化による省エネ意識の向上 節電の呼びかけ
建物・地表面の高温化抑制	建物に熱をためないための対策	太陽光パネルによる建物表面(屋上・壁面)蓄熱の低減 建物表面(屋上・壁面)の高反射化による蓄熱の低減 建物表面(屋上・壁面)の緑化による蓄熱の低減
	道路や駐車場などの高温化を防ぐための対策	道路や駐車場への透水性・保水性舗装の施工 駐車場舗装面の高反射化・緑化
都市形態の改善	緑を増やすための対策	建築物の敷地・屋上・壁面等の緑化の促進 道路内用地への植樹・未利用地の緑化 公共空間・道路沿線民有地(セミパブリック空間)での緑化の取り組み
	緑地や水辺などのクールアイランドを増やすための対策	都市公園や大規模緑地の整備、適正な維持管理 校庭の芝生化 下水処理水や雨水の利用 ため池・農地・里山の保全 クールスポットのネットワーク化
	都市形態の改善	みどりの都市軸の形成、省エネルギー化など環境負荷の少ない都市の構築
適応策の推進	人の健康への影響等を軽減するための対策	適応策によるハード対策の普及促進
		適応策によるソフト対策の普及促進